

《愛知県離島振興計画概要》

1 愛知県離島振興計画について

(1) 計画の目的・性格

- 離島振興対策実施地域の振興の基本的方向と行政各分野の諸施策のあり方を示すことを目的に策定。
- 策定に当たっては、離島振興法第4条の規定により、国の離島振興基本方針に基づき、関係市町が住民の意見を反映して作成した市町離島振興計画計画案をできる限り尊重して定める。

【離島振興の枠組み（イメージ）】



(2) 計画期間

10年間（2023年度から2032年度）
ただし、必要に応じて内容の見直しを行う。

(3) 計画の対象地域

指定地域名	島名	市町村名	人口	高齢化率	世帯数
愛知三島	佐久島	西尾市	196人	55.4%	102世帯
	日間賀島	南知多町	1,716人	36.5%	593世帯
	篠島		1,518人	34.5%	583世帯

※1：1957年12月23日（第7次指定）において、佐久島、日間賀島、篠島が一括して離島振興対策実施地域に指定

※2：人口、高齢化率及び世帯数は2020年国勢調査結果

(4) 愛知三島の位置図



(5) 計画の構成

- I 計画策定の趣旨
- II 愛知三島の概況と課題
- III 離島振興の基本方針
- IV 施策の内容
- V 産業振興促進事項に関する事項（新設）
- VI 各島の地域事情に応じた取組の方向性（新設）

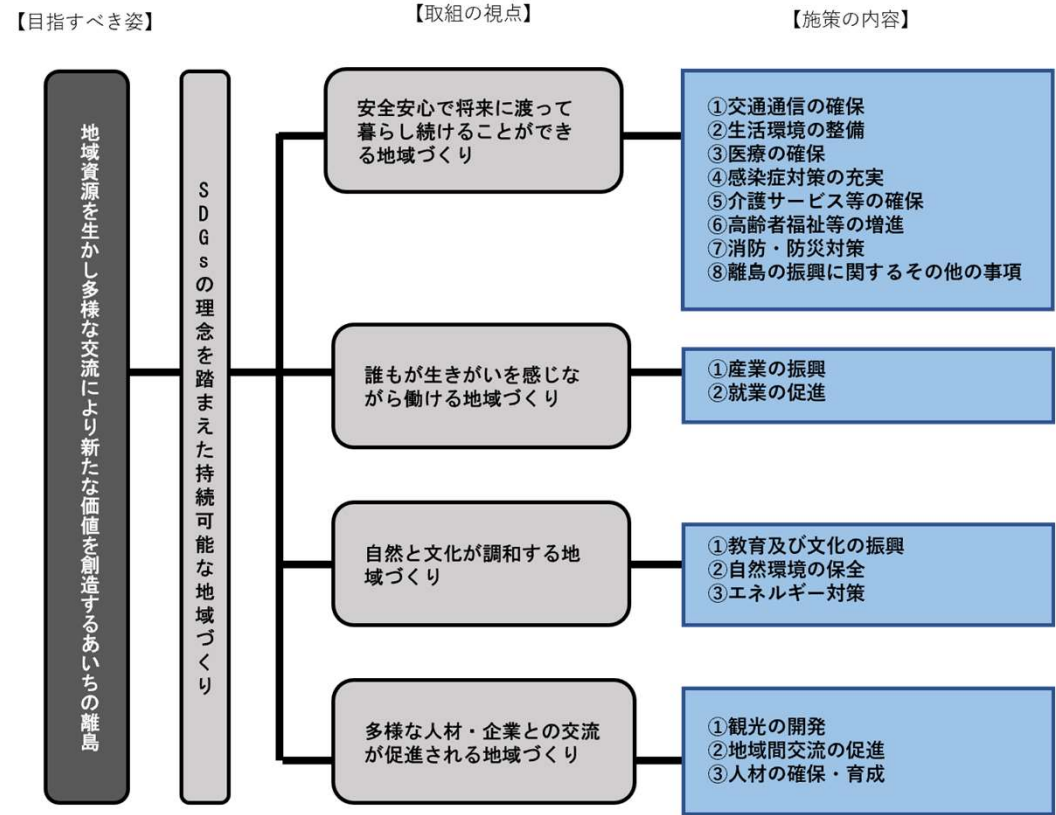
2 愛知三島の現況と課題等

- 現行計画では観光交流の促進や新たな特産品の開発など一定の成果を上げた。
- しかしながら、人口減少・高齢化に歯止めがかからず、事業主の高齢化による地域に必要な商店等の廃業や地域の担い手不足の深刻化などが懸念されている。
- また、新型コロナウイルス感染症の影響により、愛知三島への観光客が減少しており、主要産業である観光・宿泊業へ影響を与えている。
- 一方、地域を支える担い手が不足する中で、地域おこし協力隊や島外ボランティアなどの「関係人口」を積極的に活用しようという動きが出てきている。
- また、リモートワークの普及により、場所に制約されない働き方が普及したことで、ワーケーションなどの新しい人の動きや、地方暮らしへの関心が高まっている。
- こうした中で、これまでの取組・成果を引き継ぎながら新しい環境の変化に適確に対応し、将来にわたって安全・安心に暮らし続けることができる愛知三島をつくる。

3 愛知三島の目指すべき姿

地域資源を生かし多様な交流により
新たな価値を創造するあいちの離島

4 施策の体系図



5 振興に関する目標

各島における2030年の人口推計値を基準とし、人口推計値を少しでも上回ることを目標とする。

指標名	島名	現状値※1	目標値※2
愛知三島の人口	佐久島	196人	158人
	日間賀島	1,716人	1,361人
	篠島	1,518人	1,204人

※1：総務省「2020年国勢調査」

※2：目標値は国勢調査の結果と比較するため、2030年人口とする。

各島における異なる事情及び各市町におけるまちづくり戦略等を考慮し、地域ごとの目標も設定。

① 交通通信の確保

- ◎ **ドローン活用モデルの創出・発信による社会実装の促進**
- ◎ **リモートワーク等の促進による情報通信基盤の新たな利用の推進**
- 離島航路の安全・安定的な輸送の確保及び利便性・快適性の向上
- 新型輸送サービスの活用促進

② 産業の振興

- ◎ **リモートワーク・ワーケーションの促進**
- ◎ **クラインガルテン（佐久島）の新たな形態での利用促進**
- スマート水産業や養殖対処種の増養殖技術の開発推進
- 既存産業の高付加価値化や愛知三島の特産品のブランド化の推進

③ 就業の促進

- ◎ **シルバー人材センターによる就労機会の確保支援**
- 販売ルートの開拓等の支援による産業の活性化
- 新規漁業就業者の確保・育成

④ 生活環境の整備

- ◎ **空き家の改修等の支援による住宅の確保**
- 上水道施設の耐震化及び海底送水管の布設替の推進
- 環境負荷の少ない循環型社会づくりの推進
- 生活排水対策の促進

⑤ 医療の確保

- ◎ **医師の確保等によるへき地保健医療対策の推進**
- ◎ **遠隔医療等による医療の充実を検討**
- 周産期医療ネットワークの充実強化の推進

⑥ 感染症対策の充実

- ◎ **リスクに応じた危機管理体制の充実**
- ◎ **感染症に対する正しい知識の普及啓発等による蔓延防止対策の推進**
- ◎ **未知なる感染症への対応体制づくりの推進**

⑦ 介護サービス等の確保

- ◎ **介護ロボットやICT機器の導入支援**
- ◎ **介護サービスを担う人材の育成・確保の推進**
- 地域包括ケアシステムの構築の推進
- 介護サービスにおける本土との格差是正の推進

⑧ 高齢者福祉等の増進

- ◎ **子ども達が健やかに成長できる環境整備の推進**
- ◎ **障害者の就業・生活支援センターによる支援の充実及び就労支援の充実**
- 健康寿命の延伸と介護予防の推進

⑨ 教育及び文化の振興**◎ 校区外からの児童・生徒を受け入れる佐久島しおさい学校等の特色を生かした教育環境整備の推進****◎ 教育におけるICTの活用推進****◎ 国の「小学校複式学級編成基準」を上回る県基準の継続**

- 愛知三島独自の伝統行事・文化の担い手育成

⑩ 観光の開発

- インターネット等を活用した情報発信等による観光客が旅行しやすい環境整備の推進

- 歴史や地域資源の着地型観光プログラム化の推進

- 佐久島の現代アートを活用した観光の促進

⑪ 地域間交流の促進**◎ 都市部在住者との関係強化による関係人口の創出・拡大****◎ 都市部企業との交流による新たな産業創出の推進****◎ 移住体験施設等の整備による空き家の利活用推進**

- キービジュアルを活用した情報発信の強化

- 首都圏での移住相談窓口機能の設置

⑫ 自然環境の保全

- 絶滅危惧種の保護・侵略的外来種対策の推進

- 自然環境の保全活動及び環境学習に対する支援

- 漂着ごみ等に関する啓発活動及び改修・処理への支援

⑬ エネルギー対策**◎ 再生エネルギー等の導入拡大・地産池消の推進**

- ガソリン等燃油価格低廉化の推進

⑭ 消防・防災対策**◎ 社会インフラの耐震性強化及び治山・急傾斜地崩壊対策の推進****◎ 地域防災力の向上及び各種消防用資機材の充実**

- 避難経路看板等の設置による避難誘導體制の充実

- 森林病虫害等防除事業の推進

⑮ 人材の確保・育成**◎ 地域おこし協力隊等の外部人材の活動支援****◎ 農業と他の仕事を組み合わせた働き方など多様なライフスタイルの普及促進**

- 地域活性化に取り組む地元団体への活動支援

⑯ その他の事項

- 持続可能な行財政基盤の確立支援

【達成状況等の評価】

愛知三島の現況及び施策の進捗状況を「愛知の離島」として公表するとともに、市町において評価を行う。

7 各島の地域事情に応じた取組の方向性



佐久島

(1) 目指すべき姿

誰もが郷土愛を持ち、地域の魅力に共感し合い、
その魅力を積極的に発信するまち

(2) 取組の方向

- ボランティア活動などを通じて関係人口を増やし、企業誘致や移住定住者の増加を図る。
- 良好な生活環境、自然環境の維持改善に取り組み、サステイナブルな暮らしを目指す。
- 島を美しくつくる会との連携や、地域おこし協力隊制度を活用し、島が元気になるような取組、情報発信を行う。 等

(3) 振興に関する目標

指標名	現状値 (2021年度)	目標値 (2032年度)
関係人口※	840人	1,600人
地域おこし協力隊の隊員数累計	2人	11人

※島で行われるボランティア活動に参加した延べ人数

(4) 達成状況の評価

- 計画の実施状況に関する住民意識の変化や満足度を確認する住民アンケートにより進捗管理、効果の検証を行う。



日間賀島及び篠島



(1) 目指すべき姿

絆・選ばれる理由があるまち

(2) 取組の方向

- 行政だけでなく町民、企業、関係団体、その他多くの人々の積み重ねによって魅力的なまちをつくる。
- 「自分がまちをつくっている」という実感をまちづくりに関わる全ての人を持ち、「ここで暮らし続けたい」という想いにつなげる。
- 町民生活を将来にわたり持続可能なものとしていくため、少子化等に対応し、将来の人口減少を抑制し、行財政の持続可能性を確保していく。 等

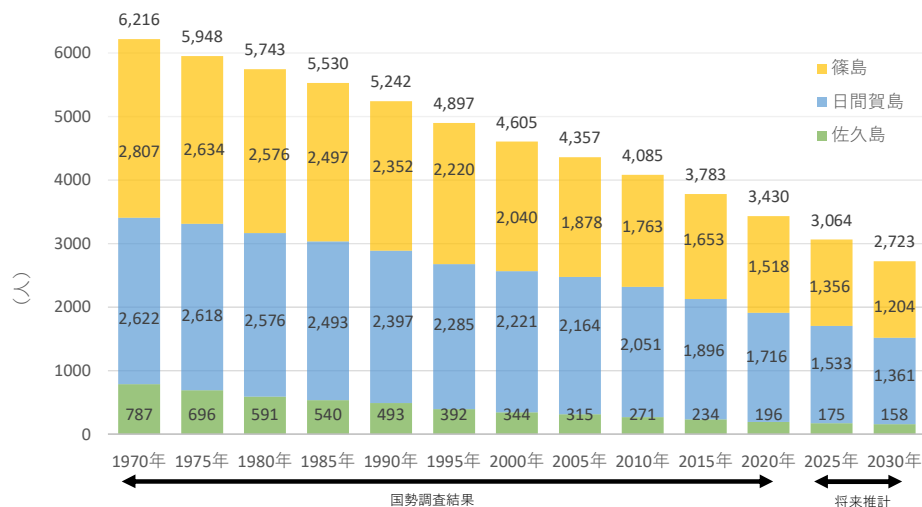
(3) 振興に関する目標

島名	指標名	目標値 (2032年度)
日間賀島	2032年度時点で維持すべき出生数	9人
篠島	2032年度時点で維持すべき出生数	14人

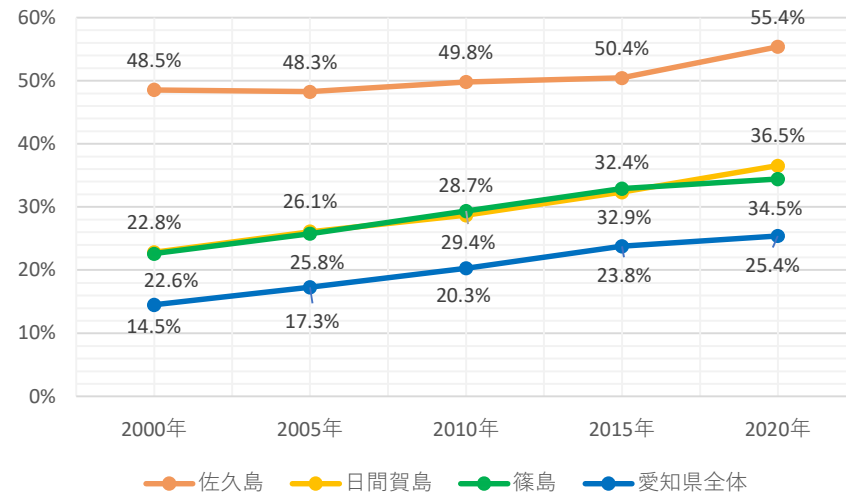
(4) 達成状況の評価

- 第7次南知多町総合計画における有識者による評価委員会や町民意識調査等の結果により進捗管理、効果の検証を行う。

【人口の推移】



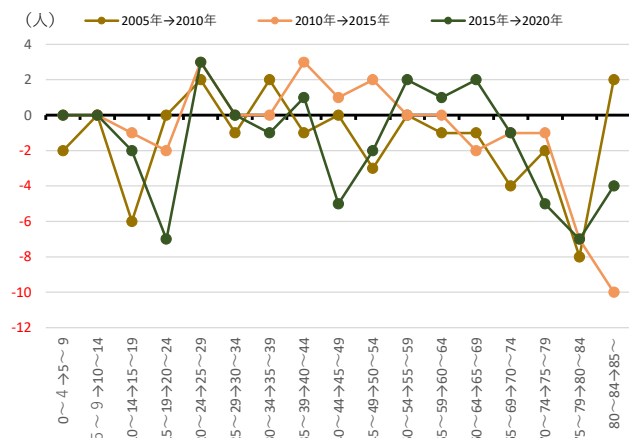
【高齢化率の推移】



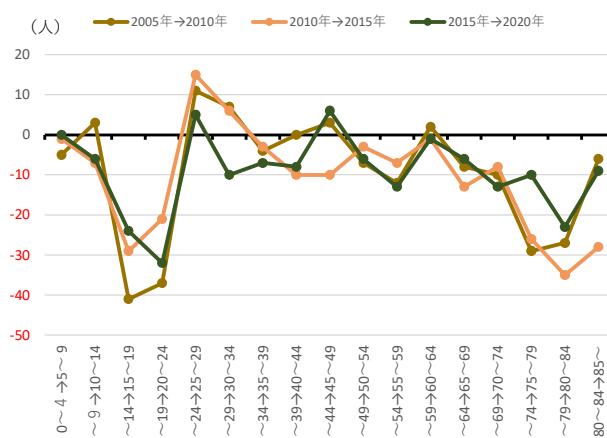
- 愛知三島とも人口は減少傾向であり、今後も同様の傾向が続く見込み。
- 高齢化率も上昇傾向であり、愛知県全体（25.4%）と佐久島では30ポイント、日間賀島では11.1ポイント、篠島では9.1ポイント高くなっている。

【年齢階級別純移動数の時系列推移】

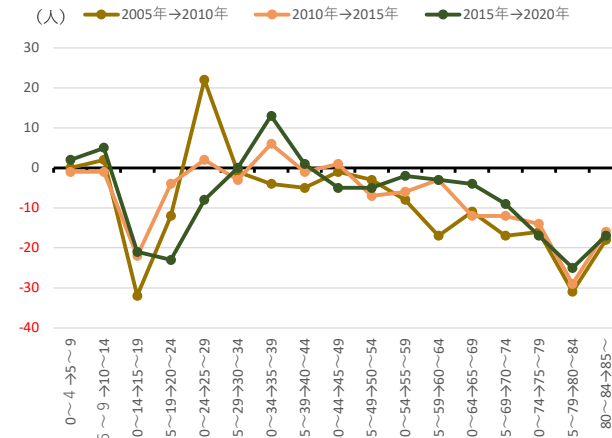
【佐久島】



【日間賀島】

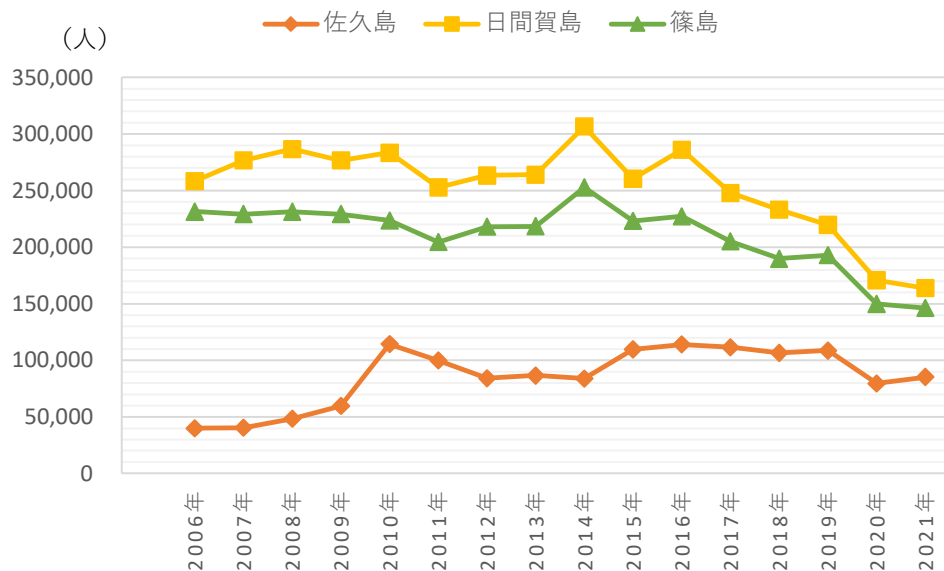


【篠島】



- 進学や就職を契機とした若年層の転出が続いている。

【観光地点等入込客数の推移】



- 現行計画策定前の2012年が愛知三島合計で約56.6万人であったのに対し、2013年以降（新型コロナウイルス感染症の影響を受ける2019年まで）は平均して約57.8万人と現行計画策定前を上回っている。
- 2020年は約40.0万人、2021年は約39.6万人であるが、依然として従前の水準まで回復には至っていない。

【産業分類別就業者数】

分類	島名	佐久島		日間賀島		篠島	
	年	2010	2020	2010	2020	2010	2020
第1次	農業	2	1	-	-	-	-
	漁業	51	34	431	338	410	340
第2次	建設業	2	3	18	12	33	27
	製造業	2	1	47	46	117	118
第3次	ガス・水道業等	1	-	-	-	-	2
	情報通信業	-	1	-	-	-	-
	運輸業、郵便業	5	3	17	27	30	26
	卸売業、小売業	8	4	109	86	79	73
	金融業、保険業	2	-	6	6	6	4
	不動産業、物品賃貸業	-	4	2	3	2	-
	宿泊業、飲食サービス業	32	27	323	270	117	98
	娯楽業等	3	2	14	10	21	11
	教育業等	2	3	30	27	23	30
	医療、福祉	2	2	26	20	26	23
	複合サービス事業	4	2	25	23	20	15
	その他サービス	2	3	10	10	13	18
公務	2	2	12	4	16	7	
分類不能	-	4	7	49	2	31	
総数		120	96	1,077	931	915	823

- 水産業、観光業が基幹産業であることから、「漁業」、「宿泊業、飲食サービス業」に従事している方が多い。
- 農業に従事している方は、佐久島で1名、日間賀島及び篠島では0名となっており、遊休農地が増加している。